



# 博物館だより

## 六尺押絵羽子板

— 館蔵資料紹介 —

この押絵羽子板は、松江町の関口紘三郎様よりご寄贈頂きました。六尺ものと呼ばれる大きなものです。

表の絵柄は、川中島合戦を題材としています。羽子板には表の絵柄に沿って裏にも絵柄があり、この羽子板の裏には牡丹と梅、そして水の流れが描かれています。押絵羽子板は、厚紙を地にして金欄きんらんや縮緬ちりめんなどの裂きれに綿わたを詰めた型を組み合わせて作られています。この押絵羽子板も、指先の小さな型から馬の首の大きな型まで、数十個の様々な型が組み合わされています。

羽子板の歴史は古く、文安元年(1444)に成立した『下学集かがくしゅう』には、「羽子板 正月二用ユ之」とあり、この頃から存在していたことがわかります。羽子板というと、多くの方が女性の絵柄のイメージを持たれるかもしれませんが、絵柄は時代とともに変化してきました。

古くは、正月に行われる火の祭りである左義長さぎちやうの儀式を描いたものから始まりました。左義長羽子板は、その様子を胡粉ごふんや金箔で彩り描いた華麗な羽子板です。その後、貴族の宴や子孫繁栄の願いがこめられた絵が描かれるようになりましたが、徳川吉宗の時代に出された儉約令によって華美な羽子板が禁止され、やがて、美人の半身像や初日の出、歌舞伎役者等の図柄を板に描く描き絵羽子板が現れました。そして、文化文政期(1804~1830)頃に現代の私たちに馴染みのある押絵羽子板が生まれました。押絵のような手芸細工は元禄期前後から存在していたといわれており、もともとあった押絵細工と羽子板の文化が合わさって押絵羽子板が誕生し、現代までその伝統が受け継がれているのです。

今回、ご寄贈いただくにあたって、近年押絵羽子板の職人が減少しているというお話を伺いました。この押絵羽子板は、鋭い表情の面相いななや、嘶く馬、そして風林火山の旗などが手書きで描かれています。現在



六尺押絵羽子板 川中島合戦

ではここまで描ききることができる職人は少なくなっているといえます。一方で、海外の方にプレゼントする押絵羽子板の製作を依頼されることもあるそうです。長い歴史の中で、様々な変遷を遂げてきた羽子板は、世界の多くの人々に愛され続けていくでしょう。そしてこれからも、素晴らしい作品が作られ続けていくことを願ってやみません。

(学芸担当 山田聡美)

## 館長就任にあたって

このたび博物館長に就任いたしました大澤健と申します。

川越市立博物館は、平成2年3月に市制施行60周年記念事業の一環として、郷土川越の歴史と文化に対する認識を深め、郷土に誇りを持ち、市民の愛郷心の育成に資することを目的として設置された人文系歴史博物館です。以来、市民の自発的な学習意欲に応える生涯学習の場として誰からも愛され、新しい川越の文化の発展に寄与することに努力を重ねてまいりました。

このように川越市民の方々と歩み続け、30年に及ぼんとしておりますが、さいたま(彩の国)景観賞、公共建築賞などを受賞した建物の外観は長い年月を経た今もなお色褪せることなく素晴らしい佇まいを保ち、そして、博物館の生命線ともいえる常設展示室は、熟考に熟考を重ねた独自性のある展示構成と展示物や模型が織りなす魅力ある空間として今も高い評価をいただいております。しかしながら、今に引き継がれてきたこれら財産を基礎に、ますます発展していくための取り組みが必要な時期にあるともいえます。

その一つとして、観光的な取り組みが挙げられます。それは、当館が川越観光のハブ的役割を担うことです。このことは、観光地川越ならではの取り組みといえるかもしれません。当館の展示内容は、川越観光のうえで、その基礎学習や情報収集の場として最適であり有効であることを魅力として発信することで入館に結び付けるとともに、展示解説員によ

る解説内容についても市内めぐりを想定したものとすることで、川越のまちそのものをも展示物として見立てる発想です。このことで、観光客の川越理解がより深まれば博物館の役割として十分に価値があると考えます。そして、現在、川越には年間700万人を優に超える人々が訪れておりますが、一極集中の状態であることから回遊性の向上が求められております。観光の拠点となる場の多くが歴史的な場であることから、ハブ的役割を担う取り組みは、回遊性の向上においても寄与できるものと思います。

今後、当館では、博物館としての絶対的使命である失われてしまうかもしれない地域の大切な「記憶」を語る資料の収集保存とこれらを正しく後世に伝えていくことを大前提とし、従前どおりの常設展示を補完する意味での魅力ある企画展示の開催、また、常設展示に関わる様々なテーマでの講座・教室・講演会等々の開催などを通じ社会教育施設としての本来の役割を担うとともに、当館の大きな特徴である博学連携という役割の継続発展に加え、川越観光のハブ的役割も担うべきと考えております。

博物館を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。新しい考えや様々な工夫を取り入れ、川越市立博物館が川越の歴史と文化を知る案内役としての役割を果たし、地域を越え、より多くの方々になお一層川越のまちに親しんでいただけたら幸いと考えております。

(館長 大澤 健)

### 平成30年度 利用状況

## 博物館・川越城本丸御殿・川越市蔵造り資料館

博物館・川越城本丸御殿とも、平成30年度中に、多くの皆様にご来館いただき、誠にありがとうございました。今後も、より多くの方にご満足いただけるよう、常設展示・企画展示の充実を図っていきたく考えています。

皆様のご来館を心よりお待ちしております。 ※川越市蔵造り資料館は現在耐震化工事のため、休館中です。

施設区分	30年度入館者数				1日平均 入館者数	開館 日数
	一般	大学生・高校生	中学生以下	合計		
博物館	49,755	2,881	36,518	89,154	303	294
川越城本丸御殿	116,134	6,444	27,307	149,885	501	299
川越市蔵造り資料館	※耐震化工事のため休館中					

# Information

令和元年度の博物館行事です (12月まで)

## 展覧会・講座・教室 etc

●・・・一般向け事業 開催日・講座名  
○・・・子ども向け事業 開催日・内容

<p>8月</p>	<p>7月13日(土)～ 第29回収蔵品展 博物館のたからもの一学芸員のおすすめの収蔵資料一</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>○1日(木)夏休み特別企画 探検!となりのまちの博物館</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>○21日(水)夏休み特別企画 昔の織物に挑戦-アングイン体験-</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>○7日(水)・8日(木)夏休み特別企画 ミニ灯籠を作ろう</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>○24日(土)夏休み特別企画 親子で木をつかって遊ぼう</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>●4日(日)・11日(日)古文書講座 初級編②③</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>●25日(日)古文書講座 中級編①</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>●12日(月)講演会 戦争体験を語り継ぐ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>となりのまちの博物館 ※写真は、昨年の様子です。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>木をつかって遊ぼう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ミニ灯籠を作ろう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>戦争体験を語り継ぐ</p> </div> </div>
<p>9月</p>	<p>～1日(日) ← 7日(土)～23日(月・祝) 令和元年度埼玉県名刀展 →</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>●1日(日)・8日(日)古文書講座 中級編②③</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>○21日(土)親子参加編 親子で香りを聞く-香道体験-</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>●7日(土)大人体験教室 友禅染め</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>○28日(土)子ども体験教室 和楽器体験-琴・三味線に挑戦-</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>友禅染め</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>和楽器体験</p> </div> </div>
<p>10月</p>	<p>← 12日(土)～ 第47回企画展 北武蔵剣術物語 -川越藩剣術師範大川平兵衛とその時代-(仮題) →</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>●日程調整中 講演会 展示資料解説</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>●27日(日)講演会 北武蔵剣術</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>槍術防具</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>甲源一刀流木刀</p> </div> </div>
<p>11月</p>	<p>第47回企画展 北武蔵剣術物語 -川越藩剣術師範大川平兵衛とその時代-(仮題) ～24日(日) →</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;"> <p>●3日(日・文化の日)民俗芸能実演 川越祭り囃子(中台)</p> </div> <div style="width: 33%;"> <p>○16日(土)子ども体験教室 花で遊ぼう-いけばな体験-</p> </div> <div style="width: 33%;"> <p>●日程調整中 講演会 剣術演武</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>中台の祭り囃子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>花で遊ぼう -いけばな体験-</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>神道無念流目録</p> </div> </div>
<p>12月</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>○7日(土)子ども体験教室 お正月飾りを作ろう</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>●12日(木)野外博物館教室 忍城を歩く</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>お正月飾りを作ろう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>野外博物館教室 ※写真は、昨年の様子です。</p> </div> </div>

## 第29回収藏品展

「博物館のたからもの—学芸員おすすめの収藏品資料—」

会期 令和元年7月13日(土)～9月1日(日)

テーマを設ける例年の収藏品展では展示できなかった資料から、学芸員おすすめの資料を展示します。あわせて中央図書館所蔵のおすすめ資料も展示しますので、博物館と図書館のたからものをご覧ください。



蚊遣り豚 (江戸時代) 当館蔵

## 令和元年度埼玉県名刀展

「日本刀—五ヶ伝とめぐり—」

会期 令和元年9月7日(土)～9月23日(祝)

本展覧会は、埼玉県刀剣保存協議会との共催事業であり、会員の秘蔵の刀剣・拵・小道具の展示を通じ、千年にわたる日本刀の歴史を振り返ります。本年度は日本刀の主な五つの系譜に基づいて作品を展示します・また、展示に併せて、研ぎ・刀身彫刻・鞘製作など刀職による実演も行いますので、ぜひご来館ください。

## 利用の御案内

### ◆入館料

区分	博物館	川越城本丸御殿	川越市蔵造り資料館	共通入館(観覧)券		
				●博物館 ●美術館	●博物館 ●本丸御殿 ●美術館	●博物館 ●本丸御殿 ●美術館 ●まつり会館
一般	200円 (160円)	100円 (80円)	休館中	300円	370円	600円
大学生 高校生	100円 (80円)	50円 (40円)	休館中	150円	180円	400円

※( )内料金は、団体[20名以上、1名につき]の場合

◆開館時間 午前9時から午後5時まで(ただし入館は午後4時30分まで)

◆休館日 月曜日(休日の場合は翌日の火曜日)

第4金曜日(休日を除く)年末年始(12月29日～1月3日)

館内消毒(6月下旬)特別整理期間(12月下旬)

\*開館時間・休館日は、博物館・川越城本丸御殿とも原則として同じ

(館内消毒・特別整理期間は博物館のみ休館)

\*蔵造り資料館は、耐震化事業のため令和2年度末(予定)まで休館いたします。

◆ガイド ○博物館 平日(開館日)午前11時・午後2時 土・日・祝日 午前11時・午後1時・午後2時・午後3時

○川越城本丸御殿 毎月第2・第3日曜日 午前11時～12時・午後2時～3時 ※ボランティアによるガイド。

※予定を変更させていただく場合もありますので、詳しくは、博物館までお問い合わせください。

◆機織り実演・体験(協力:博物館同好会)

○博物館 毎週火・水曜日 午後1時～3時 華の会(裂き織り)

毎週木・日曜日 午前10時～午後3時(12時～1時はお休み) 川越唐棧手織りの会

※予定を変更させていただく場合もありますので、詳しくは、博物館までお問い合わせください。

### ◆交通案内

東武東上線・JR川越線 川越駅より

または西武新宿線 本川越駅より、

●東武バスにて「蔵のまち経由」乗車札の辻バス停下車徒歩10分、または「小江戸名所めぐり」乗車博物館前バス停下車すぐ

●イーグルバスにて「小江戸巡回バス」乗車博物館・美術館前バス停下車すぐ

※ご来館の際は、なるべく電車、バスをご利用ください。



2019年 8月							9月							10月											
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土					
							1	2	3	4	5	6	7	6	7	8	9	10	11	12					
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	13	14	15	16	17	18	19					
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	20	21	22	23	24	25	26					
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	27	28	29	30	31							
25	26	27	28	29	30	31	29	30																	

○印は、2館休館(博物館、本丸御殿)

## 博物館の最新情報をパソコン又は携帯電話へ配信します

メール配信を希望される方は、川越市ホームページのオンライン「メール配信サービス」から「博物館メール配信」の登録を行ってください。携帯電話では、右のQRコードから登録の手続きができます。毎月25日に最新の情報を配信します。

※登録料および情報提供料は無料ですが、インターネット接続やメールの受信等にかかる費用は利用者の負担となります。



発行日◆令和元年8月1日 発行◆川越市立博物館

〒350-0053 川越市郭町2丁目30番地1

TEL 049-222-5399

FAX 049-222-5396

Eメール hakubutsukan@city.kawagoe.saitama.jp

ホームページ http://museum.city.kawagoe.saitama.jp/